

長野陸協 会報

JAAF NAGANO
NAGANO Amateur Athletics Association

■長野陸協 会報

第155号 平成28年2月1日

発行所：(一財)長野陸上競技協会

発行人：内山了治

編集人：内山良一・黒岩敏明

印刷所：信教印刷(株)

URL：<http://nagano-rk.com/>

E-mail：info07@nagano-rk.com



上伊那チーム 2年連続35回目の優勝 第64回長野県縦断駅伝

上伊那駅伝部監督 丸山 信一

11月14・15両日、長野→飯田間全22区間217.5kmにわたり、第64回長野県縦断駅伝競走大会が行われました。

今年度から監督に就任し「2連覇」を目標に活動してきました。大会当日までは不安なこともいろいろありましたが、上伊那陸上競技協会、駅伝スタッフを始めとする多くの方々に助けて頂き、大会当日を迎える事が出来ました。

あいにくの悪天候の中の1日目。1区7位でスタートし、4区宮下竣(専修大)が3位まで上げると、その後の選手もしっかり自分の走りで繋ぎ、7区水上優斗(佐久長聖高)の区間新の走りで先頭に立ちました。大門峠に入ってから選手は自分の走りを守り、後続との差を広げ10区桃澤大祐(サン工業)の驚異的な区間新の走りで更に差を広

げ、2位全諏訪に4分23秒差をつける事が出来ました。

2日目は、中学生女子小原茉莉(赤穂中)が2位と好スタートを切るも、その後苦しい展開で16区まで進みましたが、17区蟹澤淳平(創価大)から追い上げていき、地元の大声援の中を2位で通過し、先頭との差をつめながら進み、21区の高梨良介(トーハツ)は社会人1年目で初の10km以上の距離を担当してもらいましたが、期待以上の走りでタスキを繋いでくれました。最終区は、飯田下伊那、全諏訪につぐ3位でのゴールとなりましたが、総合では見事優勝(2連覇)することが出来ました。

今大会は、帰郷し就職した若手選手の活躍に地元高校生が勢いにのり、ベテランが要所を締めるといふ、理想のチームが出来た結果が連覇に繋がったと思います。最後に、大会の運営に関係した全ての皆様に感謝申し上げます。

目次

- ① 第64回長野県縦断駅伝競走大会・都道府県対抗駅伝速報
- ② 東日本女子駅伝・第31回福井スーパーレディス駅伝大会
- ③ 第23回全国中学校駅伝競走大会
- ③ 男子第66回女子第27回全国高等学校駅伝競走大会
- ⑤ 各種駅伝競走大会
- ⑥ 特集「目指せ 全中長野!」前編
- ⑦ 長野陸協の2016年度 課題 & 対策
- ⑧ 大西長野マラソン事務局長受賞・お知らせ他

第 31 回東日本女子駅伝

平成 27 年 11 月 8 日(日)に東北陸上競技協会と福島テレビ主催、福島陸上競技協会主管による標記大会が、福島信夫ヶ丘競技場を発着とする日本陸連公認「FTV ふくしま」マラソンコースで、18 チームが参加し開催された。選手団メンバーと結果は次のとおりである。玉城監督の総評は、「大学生が期待に応える走りができず残念。」ということであった。

- 結果 **総合 7 位 2 時間 20 分 50 秒**
- 団 長 中條 延太郎(長野陸協副会長)
- 副団長 北島 正孝(長野陸協駅伝部長)
- 監 督 玉城 良二(長野東高校教)
- コーチ 木下 純市(箕輪中教)、富永 浩一(鉢盛中教)
- トレーナー 窪田 勝(くぼた整骨院)、野竹 康之(野竹接骨院)
- 区 氏 名 所属・学年 区間順位 記録 (距離 km)
- 1 区: 細田 あい 日本体育大 2 年 7 位 19' 28" (6.00)
- 2 区: 和田 有菜 長野東高 1 年 3 位 13' 05" (4.00)
- 3 区: 久保田 里菜 長野東高 3 年 6 位 10' 15" (3.00)
- 4 区: 高根 楓 浅科中 3 年 4 位 9' 45" (3.00)
- 5 区: 安原 光 名城大 4 年 12 位 17' 38" (5.0875)
- 6 区: 小口 雪音 大東文化大 1 年 7 位 13' 31" (4.1075)
- 7 区: 松澤 綾音 長野東高 1 年 2 位 13' 21" (4.00)
- 8 区: 小林 成美 川中島中 3 年 5 位 9' 35" (3.00)
- 9 区: 湯澤 ほのか 名城大 3 年 14 位 34' 12" (10.00)
- 補欠: 玉城 かな 名城大 1 年 清水 彩音 長野東高 2 年
- 高安 結衣 鉢盛中 3 年 小原 茉莉 赤穂中 2 年

第 31 回福井スーパーレディス駅伝

監 督 横打 史雄(上伊那農業高教)

皇后盃第 34 回全国女子駅伝の強化策の一つとして、今年も FUKUI スーパーレディス駅伝(11/8、福井運動公園、一般財団法人福井陸上競技協会・福井テレビ主催)に参加させていただきました。この駅伝は実業団、大学、県選抜チームが競い合う全国唯一の大会であり、日本代表をはじめ全国トップクラスの選手が出場するため、経験を積むにはこれ以上ない機会であると考えております。

区間(距離)	氏名(所属)	記録	通過順位(区間順位)
1 区(6.55km)	岡村 未歩(長野東高 2 年)	22 分 12 秒	19 位
2 区(3.00km)	村上 愛華(長野東高 2 年)	10 分 19 秒	19 位(22 位)
3 区(4.00km)	今井 萌(長野東高 2 年)	13 分 40 秒	18 位(20 位)
4 区(4.00km)	川上 綾香(日体大 1 年)	14 分 08 秒	19 位(26 位)
5 区(5.00km)	小林 希良莉(長野東高 3 年)	18 分 19 秒	24 位(28 位)
6 区(7.45km)	笹沢 今日子(城西大 1 年)	27 分 10 秒	24 位(21 位)
総合記録	1 時間 45 分 48 秒		24 位(39 チーム中)

今回はじめて大学生を 3 名エントリーし、県代表チームの課題の一つである一般大学生の選手強化をねらったチームを編成しました。また、高校生についても前半区間に長野東高校の 2 年生を据え、次世代のエース候補育成を期待させるオーダーとなりました。

ただ、レースとしては全体の 24 位(県選抜チームの中では 4 位)という結果で、すべての選手から「満足できた」という話を聞くことができませんでした。しかし、県代表のユニフォームを着用しレースに挑んだこと、全国トップレベルを肌で感じる事ができたこと、そうした経験の中で得た課題が今後の飛躍につながっていくのだと思います。この中から 1 月の全国女子駅伝に出場する選手が出てくることを大いに期待しております。

最後になりますが、大会の出場にあたり関係各位にご尽力いただきましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

- 団 長 内山了治(長野陸協理事長・長野高専教)
- 監 督 横打 史雄(上伊那農業高教)
- コーチ 横川 佐知雄(昭和電工大町)、柳澤 瑞樹(下高井農林高教)、亀山 絵未(東海大第三高教)



写真左:果敢にスタートする 1 区岡村選手(右端 No. 31)

写真下:選手団一同



第 23 回全国中学校駅伝競走大会 男女アベック出場をとおして

長野市立川中島中学校

陸上競技顧問駅伝担当 野澤 重典



本校の駅伝チームは、11月3日(火)に行われた第26回長野県中学校駅伝競走大会で男女アベック優勝を果たすことができました。そして、全国中学校駅伝大会への出場切符を獲得しました。男子は2年ぶり2回目、女子は5回目の出場権獲得でした。指導して下さっております竹内万祐監督には心より感謝申し上げます。

今年は、選手みんなが「絶対的なエースがいない」ことを十分認識していたので、「1人ひとりが数秒ずつを貯金し、みんなの力を結集させて優勝しよう」と早くから心をひとつにしておりました。まさに総合力で勝負しようとの決意でした。

12月13日(日)に行われた全国大会では、男女ともにペアで入賞することを目標に全力を尽くしました。結果は、男女ともに19位という成績でした。選手たちは悔しく、残念な気持ちもあるようですが、全力でたすきをつなぐ姿には心から感動し、胸が熱くなる思いがしました。全選手がベストの状態、ベストのパフォーマンスを発揮

することの難しさも痛感いたしました。県大会、北信越大会でいい走りができた選手が、全国大会で実力を十分発揮できたとはいえない選手がいた一方、それまで失敗して涙していた選手が「今回初めて個人的には満足した走りができた」と語るなど、全員がベストの状態です。今後の指導の課題にしたいと思います。しかし、強豪チーム、強豪選手が集う全国大会の場を踏めたことは大変貴重な経験であり、選手達も一生心に残ることと思います。これも偏に皆様の温かいご支援とご協力のたまものと感謝しております。

第23回全国中学校駅伝大会への出場に対しまして、陸協関係の皆様を始め、地域の皆様、各企業様、そして学校関係者など、多くの皆様方から多大なるご支援とご協力をいただきました。重ねて御礼申し上げます。今後とも本校陸上部に対しまして、厳しくも温かいご支援・ご指導をいただければ幸いです。



〔第23回全国中学校駅伝大会 川中島中学校の結果〕

男 子 (区間順位/ 通過順位)			女 子 (区間順位/ 通過順位)		
区 (距離)	選手氏名	区間タイム等	区 (距離)	選手氏名	区間タイム等
1区 (3 km)	佐々木 柊馬	9' 30" (16/16)	1区 (3 km)	小林 成美	10' 34" (19/19)
2区 (3 km)	越 陽汰	9' 20" (5/6)	2区 (2 km)	宮澤 美裕	6' 56" (19/18)
3区 (3 km)	三井 航志	9' 50" (26/12)	3区 (2 km)	和田 真菜	7' 03" (16/17)
4区 (3 km)	三井 悦志	10' 07" (36/22)	4区 (2 km)	堀内 あかり	7' 13" (18/17)
5区 (3 km)	小林 礼生	9' 43" (6/16)	5区 (3 km)	和田 帆香	10' 53" (22/19)
6区 (3 km)	丸山 拓真	9' 57" (31/19)			
男子総合成績 19位 (58' 27")			女子総合成績 19位 (42' 39")		
補員オープン 3km 143名出場	池田 悠大	10' 48(110位)	補員オープン 2km 133名出場	倉島 美桜	8' 08(119位)
	竹林 諒	10' 47(109位)			
	原山 歩夢	11' 07(131位)			

全国高校駅伝を振り返って

(佐久長聖・長野東・長野日大) 各高等学校より

男子第 66 回全国高等学校駅伝競走大会を終えて 佐久長聖高等学校 駅伝部監督 高見澤 勝

昨年 12 月 20 日、男子第 66 回全国高等学校駅伝競走大会が京都で行われました。長野県代表として出場させていただいた佐久長聖高校は、おかげさまで 4 位入賞を果たすことができました。昨年は準優勝という結果だったため、順位こそ落としてしまいましたが、タイムは昨年より 31 秒上回っており、戦前の予想通りレベルの高い全国大会だったことを感じさせられました。

全国大会を迎えるにあたって、県大会や北信越大会時には主力選手の怪我があり、チームの状態はベストコンディションではありませんでした。ただ、それを利用して若い力を試したり経験させたりして、全国大会を見据えながら準備を進めていきました。その中で、日に日に手応えを掴むことができていたので、チーム目標を 6 位以内に掲げて大会に臨みました。

レースは、1 区の關颯人が区間賞の走りで上々の滑り出しをしました。2 区・3 区で若干順位を落としてしまいましたが、想定内のレース展開で進んでいったため、全く不安はありませんでした。4 区以降の選手は、その流れの中で予定以上の走りをしてくれたため、最終的には 4 位という目標通りの結果につながりました。

長野県は「駅伝王国」と言われているため、入賞することは我々の使命だと思っていたので、4 位に入賞できたことは嬉しく感じます。それと同時に、このような結果を残すことができたのは、長野陸協をはじめとする多くの方々のご支援や応援があったからだと思います。ありがとうございました。

今後の長野陸上競技協会発展のため、「駅伝王国長野」というプライドを持って更なる高みを目指していきたいと思っておりますので、これからもご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

女子第 27 回全国高等学校駅伝競走大会出場 長野東高等学校 監督 玉城 良二

今年度の全国高校駅伝大会は、京都開催 50 年を記念して従来の都道府県代表と、地区代表、京都府代表の 12 校を加えて 58 チームが参加。また、多チーム参加という事で、スタート時の転倒回避のために都道府県予選会の記録によるシード制が取り入れられるという従来から変化のある大会となりました。

本校は 9 年連続 9 回目の出場となりました。チームは

「8 位入賞」を目標に 1 年間都大路のために日々の練習と生活で「自分の決めたことをやり抜き、手応えを積み重ねる」という取り組みをしてきました。しかしながら、県大会からベストメンバーでのチーム編成ができずに、記録的に手応えを得られないまま全国大会を迎えました。

レースは 1 区がほぼ想定内 10 位台で 2 区以降につなぐという位置でレースを進めましたが、2 区以降の中盤で順位を押し上げるというレースプラン通りにはいかずに 10 位後半を維持するにとどまってしまうました。何とかアンカーが競技場内で一度抜かれた留学生等を抜き返して、15 位、1 時間 9 分 58 秒という結果でフィニッシュをしました。

ここ数年 10 位以内を保ってきたわけですが、順位も記録も下回り、改めて全国のレベルの高さと、自分たちの取り組みの甘さを感じさせられました。しなしながら、今回走ったメンバーには 1、2 年生が 4 名います。また、昨年走った 2 年生も残る来年こそ「入賞」という結果を残して、日ごろお世話になっている皆様への恩返しとなるように努力を積み重ねていきたいと思っております。

終わりに、大会参加にあたり、多くの関係者にご支援ご声援をいただきましたことに感謝申し上げます。

北信越ブロック枠獲得と都大路を駆け抜けて 長野日大高校 駅伝監督 山田 憲一

男子第 66 回全国高等学校駅伝競走大会では、多くの皆様方にご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。男子駅伝チームは、昨年 11 月 22 日(日)新潟県弥彦村で行われた北信越高校駅伝において、1 区で区間賞を獲得し、好スタートを切ると全区間で安定した走りを見せ、最終 7 区の大池竜紀(1 年)がガッツポーズでフィニッシュ、2 時間 11 分 54 秒で各県 1 位校を除く最上位の 4 位に入賞し、京都市開催 50 回を記念して設けられた「男子第 66 回全国高校駅伝大会北信越ブロック枠」の獲得を果たしました。

これも選手の日々の努力はもとより、陰ながらチームを支えて下さった方々の心温まる励ましがあつたからと感じています。長野日大高校男子駅伝チームが 6 年ぶり 2 回目の都大路を走らせて頂けると思うと感激もひとしおでした。

都大路では、1 区の松木之衣(3 年)が 30 分 01 秒の区間 21 位と好位置で流れを作り、序盤から 20 番台でレースを進めることができました。中盤以降も、各区間設定した目標に近いタイムでタスキを繋ぎ、後半は崩れることなく、総合結果は 2 時間 8 分 37 秒とチームとして初めて 2 時間 10 分の壁を破る好タイムでアンカーの中村祐太(2 年)がゴールし、出場校 59 チーム中 37 位と健闘しました。

大会期間中には、駅伝強豪チームのレベルの高さを様々な面から肌で感じたと同時に、都大路を自らで走ったという経験から、選手は精神的にも大きく成長したのではないかと思います。

今後は、皆様のご厚情にお応えいたすべく再挑戦する場に立てますよう、新チーム全員で心を合わせて競技に

精励する所存でございます。北信越代表そして、郷土の代表として戦った誇りを忘れずに、いつも支えてくださっている方々への感謝の気持ち、そして、地域や学校、チーム全員の願いを糧に込め、これからも力いっぱい走り続けて行きたいと思っております。今後とも長野日大高校男子駅伝チームの応援をよろしくお願い致します。

◎主要駅伝競走大会の結果 (第3位まで)

長野県高等学校駅伝競走大会 (11/1) 大町市			
<男子の部>		<女子の部>	
第1位	佐久長聖 2:07:55	長野東	1:11:38
第2位	長野日大 2:10:28	諏訪二葉	1:20:08
第3位	上田西 2:13:40	伊那西	1:20:17
北信越高等学校駅伝競走大会 (11/22) 新潟県弥彦村			
<男子の部>		<女子の部>	
第1位	佐久長聖 (長野) 2:08:18	長野東 (長野)	1:11:53
第2位	中越 (新潟) 2:10:22	富山商 (富山)	1:13:37
第3位	富山商 (富山) 2:10:25	星稜 (石川)	1:13:53
長野県中学校駅伝競走大会 (11/3) 松本平広域公園			
<男子の部>		<女子の部>	
第1位	川中島中学校 57:14	川中島中学校	42:14
第2位	鉢盛中学校 58:05	赤穂中学校	43:28
第3位	高森中学校 58:22	鉢盛中学校	43:42
北信越中学校駅伝競走大会 (11/23) 松本平広域公園			
<男子の部>		<女子の部>	
第1位	小千谷中学校 (新潟) 56:52	津幡南中学校 (石川)	41:04
第2位	雄山中学校 (富山) 56:52	川中島中学校 (長野)	42:14
第3位	鉢盛中学校 (長野) 57:05	鳥屋野中学校 (新潟)	42:38

第 64 回長野県縦断駅伝競走(11/14-15) 長野市～飯田市 最優秀選手 桃澤 大祐 (上伊那)

順位	チーム	記録	順位	チーム	記録	順位	チーム	記録
1	上伊那	11:42:57	6	松本市	12:03:30	11	塩尻東筑木曾	12:34:38
2	全諏訪	11:46:46	7	中野下高井	12:10:49	12	千曲坂城	12:38:42
3	飯田下伊那	11:51:28	8	全佐久	12:14:22	13	須坂上高井	12:39:26
4	長野市	11:53:02	9	大町北安曇	12:30:26	14	飯山栄	12:45:40
5	上田東御小県	11:55:02	10	安曇野市	12:32:11	15	上水内	13:13:39

【区間賞】

区間	氏名	新	記録	所属	区間	氏名	新	記録	所属
1	矢澤 明德		35:07	全諏訪	12	宮入 一海		31:20	全佐久
2	児玉 天晴		23:34	全佐久	13	高安 結衣		6:38	塩尻東筑木曾
3	松崎 咲人		12:09	塩尻東筑木曾	14	下村 勇喜		34:31	塩尻東筑木曾
4	小山 祐太		51:19	上田東御小県	15	鈴木 優斗		30:49	全諏訪
5	岡村 未歩		10:25	長野市	16	岩崎 一徹		31:39	飯田下伊那
6	大野 雄揮	☆	40:29	長野市	17	後沢 広大	☆	47:55	飯田下伊那
7	水上 優斗	☆	26:52	上伊那	18	清水 大希		31:21	全諏訪
8	清水 順太		36:52	松本市	19	松澤 綾音		14:33	飯田下伊那
9	松村 健一		36:07	飯田下伊那	20	佐々木 柊馬		12:36	長野市
10	桃澤 大祐	☆	44:05	上伊那	21	牛山 純一	☆	51:19	全諏訪
11	馬場 隆夫		30:55	上伊那	22	白川 友一		44:58	須坂上高井

特集「目指せ 長野全中！」前編

～Team Nagano Junior Road to Zenchu～

普及強化委員会 ジュニア部長 宮澤 真一 (堀金中教)

2016年、いよいよ長野全中がやってきます。「大会の盛会には地元選手の活躍が不可欠」であることは当然のこと。ジュニア部が中心となり、強化部の高校の先生方やトレーナーの先生方のお力を借りながら選手強化に取り組んできています。その強化にあたり長野陸協には、様々な面から多大なご支援をいただき、多くの練習会や合宿、県外遠征等を行うことができます。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

全中が長野県で開催されることが決まってから、様々な場面で「地元全中」をアピールし、「全中対策」と銘打ち強化を進めてきました。全中の主役になる中学3年生(現2年)を中心にどの世代も小学生の頃から練習会に呼んで「地元全中に出場する」「戦う」ことを意識させてきました。それまで小学生を中学の強化の場と呼んだことはなく、小中連携して強化を進めていく大きなきっかけになっています。

全国大会の雰囲気を感じて、一昨年、現2年生が1年生のときにジュニアオリンピック視察合宿を行いました。大きなスタジアムとレベルの高い競技。自分達と同じ中学生が競技する姿を見て大いに刺激を受けました。このときに選手としてジュニアオリンピックに出場した者も含め、この合宿に参加していた選手の多くが今も強化選手として活躍し、長野全中を待ちかまえています。

残念ながら前年の北海道全中では入賞なしに終わり、大いに危機感を持ちました。これまでの強化はどうであったのかが問われる、スタッフ一同に与えられた大きな試練となりました。しかしながら、その後の新人戦ではたくさんの大会記録が誕生しています。各年度の1・2年生それぞれの最高記録などを比較してみると、ここ数年ではトップの記録が出ている種目も多く、かつ層が厚くなってきていることが分かってきました。「全中」を意識し、強化をしてきたことは確実に芽を出しつつあります。「全国で入賞レベル」まではなかなか到達していませんが、Team Nagano 全体としては確実に底上げされてきていることを実感しています。

長野全中における Team Nagano の目標は、

- 優勝1を含む入賞5
- 全種目において標準記録突破

です。地元選手の入賞により大会が大いに盛り上がるでしょう。それと同時に、たくさんの地元選手が出場しているということもとても重要だと考えます。全中開催県には開催地枠があり、標準記録を突破していなくても各種目1人は出場ができます。しかし、これに頼ることなく全



種目で標準記録を突破して出場を勝ち取り、それに加え開催地枠で出場する選手がいて…という大選手団を送り込む、というのも大きな目標となっています。

それらの目標を達成するために、強化練習会・合宿の中で以下のような取り組みを始めています。練習会等は12月末を皮切りに1～3月まで月に2回ずつ実施します。単発に終わらないよう2週間に1度は顔を合わせ、継続性を大切に練習に取り組んでいます。

① 選抜ランク制の導入と認定証



これまでは簡単に言ってしまうと、ただ単に記録上位者を選抜し、強化練習に呼ぶというスタイルで細かな基準があったわけではありません。そこで、全中に関わる記録(決勝進出や準決勝進出記録など)を明確にし、それらに対して前年度の記録がどこまで到達しているかの達成率によって高い方からS、A、B、Cと4つのランクによる選抜を行いました。

1つめの目標「入賞5」に向けてS、A選抜。2つめの目標「全種目標準突破」に向けてのB選抜。さらに開催地枠を想定してのC選抜という位置づけです。賛否両論あるとは思いますが、選手の自覚を高め、さらにやる気を引き出すことを目的とした選抜ランク制です。もちろん伸び盛りの中学生です。ひと冬超えることでこのランクを覆すようなことも起きるかと思えます。それも大いに期待しているところです。また、昨年12月の合宿では、「選抜選手認定証」を一人ひとりに手渡し、「選抜選手」としてのスタートを切りました。

8月。地元松本の地で Team Nagano が大活躍することを目指してわれわれスタッフ一同、努力を重ねて参ります。お気づきの点は遠慮なくお伝え下さい。今後とも会員の皆様のご支援・ご指導をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。(この続きは次号に掲載します)

長野陸協 2016 年度の課題 & 対策

代表理事・理事長 内山 了治

§1 キャリア支援、セカンドキャリア支援

大学生の就職先、競技生活を継続できる環境、そして競技生活を終えた後のセカンドキャリア支援のしくみが全くない、あるいは極めて乏しい状況です。隣県のクラブや企業に本県出身の大学生が所属しオリンピックを目指しています。早急には解決できませんが、大きな課題です。

§2 東京オリ・パラ、2027 長野国体(予定)対策

2020 年の東京オリンピック、パラリンピック、そして 2027 年に予定される 2 巡目長野国体に向けた中・長期計画の策定とその遂行が大きな課題です。

§3 医事委員会独立

これまで総務委員会医事部として活動してきましたが、H27 年 12 月の理事会で正式に「医事委員会」が承認され、委員会構成は「医事部」と「トレーナー部」とし、メディカルサポート、アスリートのコンディショニングなどが任務内容となります。詳細は次号でご紹介します。

§4 審判ウエアのコンペティション実施

いろいろなタイプのポロシャツ、統一されていないストラックス、これでは第 100 回日本選手権混成競技や第 43 回全日本中学選手権で、全国のトップアスリートや監督・コーチをはじめとする多くの方々に、長野陸協の組織力を疑われてしまいます。審判ウエアの業者さん選定の透明性・公平性を担保し、より安く質の高いウエアにすることを目的にコンペを実施しました。2 月 20 日の理事会に於いて決定する予定です。ご協力をお願いいたします。

§5 今年も日本陸連主催大会が開催されます

- ① 4月17日(日)：第18回長野マラソン(第12回長野車いすマラソン、第65回長野県選手権マラソン競技)長野市
- ② 6月11-12日(日)：第100回日本陸上競技選手権大会混成競技、第32回日本ジュニア選手権混成競技、長野市
- ③ 8月21-24日(水)：第43回全日本中学校陸上競技選手権大会、松本平広域公園

§6 長野陸協主要大会：県選手権を7月に実施

高校新人の予選会とも化していた「長野県選手権」を、長野県の最高大会としての位置づけを再認識し、大学生や一般競技者が参加しやすい7月開催としました。また、東海4県と同様に東海選手権予選会としても位置づけた。H28年はオリンピックイヤーであり、また、日本混成、全国中学開催のため、競技日程がイレギュラーな面もありますが、成功に向けてご協力をお願いします。

記録会については、これまでの「普及強化委員会」中心の運営から、長野陸協の通常大会と同様に「競技運営委員会」が主体となり運営することになりました。名称も以下のように変更し、自己ベスト、日本のトップ、そして世界

へ挑戦する記録会となりますよう、より魅力ある競技会にしたいと考えております。

4月9-10日 長野スプリング・トライアル2016(2月確定)

7月23日 長野サマー・トライアル2016(松本平)

10月16日 長野オータム・トライアル2016(松本平)

§7 長野県縦断駅伝の安全・渋滞対策

伊藤利博長野陸協会長代行(同駅伝審判長)が中心となり、推し進めてきた「左端走行」は、チーム関係者等のご指導ご協力により、全チーム、選手に浸透してきました。



今後は、参



加チーム応援やサポート等の関係車両を如何に減らすか、事故を未然に防ぐためにも、渋滞緩和・解消が大きな課題です。各チームでもご検討願います。

§8 長野陸協創立70周年記念事業の実施

記念式典 H28年12月10日(土) 会場 ホテル犀北館

14時から 式典、記念講演、16時から祝賀会

記念誌 H29年12月頃発行予定、記念競技会 H29年に実施、長野県縦断駅伝は65回(H28年度)が記念大会となる。

§9 長野陸協への登録は3月中に!! 長野マラソン併設長野県選手権(マラソン)出場者は3月31日が締切です。

4月早々から記録会が始まるため、競技者、審判員とも3月中の登録完了をお願いします。中学・高校1-2年生には依頼済み、学連は昔から3月中完了です。

§10 長野陸協の経営の安定化等

「1日1500円の日当、高速代なし」陸協の経営を安定化させ、これらを改善できるように試みています。大会審判員数の適正規模の見直しも当然必要です。

また、会報が届かない対策として、審判員には個別郵送し、団体登録チームには選手登録数を郵送します。

平成24年2月に法人化され、それまでの慣習では通用しない面も出てきました。協会運営、各種事業等の遂行に、会員の皆様のご理解ご協力をお願い致します。(以上)

都道府県対校駅伝速報

☆ 皇后盃 第 34 回全国都道府県対抗女子駅伝 愛知県が初優勝
 1月17日(日) 京都市、総合14位 記録2時間19分03秒
 記録は、過去3番目の良いタイムだが、全体的なレベルアップが進んでいる。<1位 愛知2:16:02, 2位 兵庫2:16:22, 3位 群馬2:16:28, 4位 京都2:16:35, 5位 千葉2:16:59, 6位 東京2:17:25>

☆ 天皇盃 第 21 回全国都道府県対抗男子駅伝 愛知県が優勝
 1月24日(日) 広島市、総合5位入賞 記録2時間21分09秒
 関 颯人(佐久長聖高校)：ジュニアA最優秀選手賞、第5区(8.5km)区間賞受賞、<1位 愛知2:20:12, 2位 広島2:20:43, 3位 埼玉 2:20:59, 4位 静岡2:21:03, 6位 福島2:21:17>

ご協賛に感謝申し上げます

ご協賛企業一覧 (長野陸協主催大会プログラム広告年間掲載)
 [裏表紙] しなのメイト株式会社様、ミズノ株式会社様
 キッセイ薬品工業株式会社様
 [横断幕] キッセイ薬品工業株式会社様
 [中1頁] 東武トップツアーズ株式会社松本支店様
 [中1頁、横断幕] 長野菅公学生服株式会社様
 [1頁] 株式会社匠電舎様
 [半頁] 有限会社シナノ体器様、株式会社ニシ・スポーツ様
 セイコータイムシステム株式会社信越営業所様
 株式会社マスタカスポーツ様、池田建設株式会社様
 株式会社ワコールホールディングス様
 株式会社長野ホテル犀北館様、電算印刷株式会社様
 社会医療法人栗山会 飯田病院様
 [四半頁] 株式会社アイワ徽章様、瑞広庵様

引き続きよろしくお願ひ申し上げます

おめでとうございます

大西 長野マラソン事務局長が NHK 地域放送文化賞受賞



NHKは第21回関東甲信越地域放送文化賞に、長野マラソン大会組織委員会事務局長の大西健文さんら4人と1団体を選出し、1月29日に渋谷のNHK放送センターで表彰した。

大西さんは2008年から同事務局長を務め、地域活性化の実現とNHKの取材・番組製作に大きく貢献した点が評価され、今回の受賞となった。今年の第18回長野マラソンは、新春からのNHK大河ドラマ「真田丸」の放送もあり更に盛り上がりそうだ。

****大西事務局長からのコメントは次のとおり****
 『長野陸協はじめ大会運営に関わるすべてのみなさんでの受賞だと考えています。今後もお世話になりますが、よろしくお願ひ致します。』

お知らせ 長野陸協事務局

- 第 22 回理事会・評議員会・2015 年度長野陸協栄章表彰
 期日：平成 28 年 2 月 20 日 (土)
 会議：長野市宮陸上競技場会議室 理事会 10 時、評議員会 13 時
 2015 長野陸協アワード：ホテル犀北館 17 時～
 これまで次年度の大会開催に併せて行っていた「長野陸協栄章表彰」を理事会・評議員会後に「2015 年長野陸協アワード」として行います。会員の皆様奮ってご参加ください。(詳細は同封)
- H28 年度 日本陸連審判講習会 (詳細は同封しました)
 期日：平成 28 年 3 月 27 日 (日)
 会場：<午前>松本大学 <午後>松本平広域公園陸上競技場
 全日本中学選手権に備え、新たに導入された機器への対応も含め、座学講習と実技講習を予定しています。ご出席をお願いします。

編集後記

2016 年を迎え、一ヶ月が過ぎました。今年は、リオのオリンピックや長野全中の年です。辛く厳しい練習も明確な目標を持つことで乗り越えられます。冬期練習の後半、焦らずに仕上げていきましょう。お忙しい中で、執筆いただきありがとうございます。『オール長野』で取り組む1年、春は必ずやってきます。楽しみです。

- <次号予定> (3/31 発行予定)
- 第 34 回全国女子都道府県駅伝競走大会結果
 - 第 21 回全国男子都道府県駅伝競走大会結果
 - 各種大会より (長野県選手の活躍)
 (マラソン・駅伝・競歩・クロスカンントリー)
 - 地区陸協訪問：中信陸協
 - 平成 28 年度にむけての長野陸協からの連絡
 - 特集『目指せ 長野全中!』後編他
 - 掲載記事を募集しています (内山 良一)